

編集顧問

阿部 弘
岩崎 喜信
大本 堯史
河瀬 斌
菊池 晴彦
桐野 高明
高倉 公朋
田中 隆一
西本 詮
橋本 信夫
早川 徹
堀 智勝
吉田 純
吉本 高志

編集委員

佐々木富男
(編集委員長)
新井 一
岡田 芳和
片山 容一
斉藤 延人
高安 正和
伊達 勲
富永 悌二
寶金 清博
宮本 享
吉田 一成
吉峰 俊樹
若林 俊彦
(五十音順)

本誌「扉」の黒田敏先生の「文武両道のススメ」に記されていた Bo K. Siesjö 先生の計報には感慨深いものがある。かつて脳虚血の研究をした多くの先生方にとって、Siesjö という名前は、やはり特別ではなかろうか。脳虚血の生化学的解析を開拓した巨人である。30 年前は、その著書『Brain Energy Metabolism』を小生も持っていたが、いつの間になくなってしまった。ご冥福をお祈りしたい。

吉田純先生の総説、「日本の遺伝子治療の夜明け」も大変興味深い。先端医療と共に歩んでこられた吉田先生ならではの時代の証言である。遺伝子治療研究の世界的趨勢から、2000 年の悪性脳腫瘍に対するインターフェロン遺伝子治療の開始、名古屋大学における遺伝子治療と細胞・再生医療の研究開発体制の整備、そして今後の展望に至るまで、包括的に詳述されている。1980 年の世界初の遺伝子治療から、様々なレギュレーションなど社会環境の整備と歩を合わせてわが国で脳腫瘍の遺伝子治療が開始されるまで、実に 20 年を要している。改めて先端医療開発と応用の困難さを思い知らされる。遺伝子治療にかかわらず、先端医療技術開発の本質的な難しさは、開発への時間・費用投資の物理的負担に加えて、それらの医療技術が患者の予後をよくして初めて世に残る点にあると思う。新たな医療機器も、実際に医療現場で使われてこそ初めて価値が生まれる。だからこそやりがいがあるとも言えるかもしれない。国策として医療・医療機器産業の推進が叫ばれる中、アカデミアの役割も変貌しつつある。アカデミアでの閉じられた専門知は産業としての駆動力になり得ないため、アカデミアが産業基盤の一翼を担い、企業と伴走しながら医療産業に資することが求められている。産学官連携関連のプロジェクトに巨額な予算がつぎ込まれ、日本版 NIH 構想も具体化しつつある。しかし医療イノベーションという観点からみれば、わが国の社会環境・教育環境・医療環境は、欧米に比してまだまだ改善すべき点があると思う。

佐々木達也先生には、術中 VEP モニタリングによる視機能の温存について具体的な症例と共に概説いただいた。佐々木先生のこれまでの様々な術中モニタリングのお仕事の一端であり、教育的価値の高い内容である。そのほかにも、貴重な症例など、多くの論文をお寄せいただいた。ご寄稿いただいた諸先生に感謝申し上げます。

Neurological Surgery 脳神経外科

(第 41 巻第 11 号)

2013 年 11 月 10 日発行 (毎月 1 回 10 日発行)

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

[2013 年 年間購読料 (税込、送料弊社負担)]

冊子版/通常 32,760 円、冊子版/個人特別割引 30,030 円、冊子 + 電子版/個人特別割引 35,030 円、冊子 + 電子版/共有 42,700 円、電子版/個人特別割引 30,030 円、電子版/共有 37,700 円

E-mail : noge@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/noge/

投稿論文オンライン受付 ID : noge パスワード : noge

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(担当: 松田・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株)医学書院が保有します。
• 本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

• JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。